

ベーゼンドルファー 280・スタインウェイ D-274 ピアノの名器体験 Vol.2

世界最高峰のピアノ「ベーゼンドルファー」と「スタインウェイ」を、ハーモニーホールステージに2台並べて設置。多くのプロも称賛するハーモニーホールの極上の音響環境で、2台同時に体験できるチャンスです！ピアノ初心者から上級者まで、広いホールであなただけの至福の時間を堪能してみませんか。また、ピアノを中心としたアンサンブル・歌唱も楽しめます。



- 日程** 2026/ 9月 19(土)・20(日)・21(月)・22(火)・23(水)
- 時間** 9時・10時・11時・12時・13時・14時・15時・16時 1日8枠 (1枠50分)
- 参加費** 1枠3,000円 5名まで(指導者含む)1日2枠、2日間の計4枠まで申込可
- 会場** おりなす八女 ハーモニーホール (音響反射板を設置します)
- 申込受付** 8月21日(金) 9:00から窓口受付 (電話申込は初日のみ10:00から受付)
※翌8/22日からは窓口、電話ともに9:00~18:00の受付。

〈申込み・問合せ〉 おりなす八女 ☎0943-22-5332

Bösendorfer



STEINWAY & SONS



88鍵盤
奥行：280cm 間口：160cm
高さ：102cm 重量：530kg



88鍵盤
奥行：275cm 間口：157cm
高さ：102cm 重量：480kg

ベーゼンドルファーはウィーンの貴婦人と表され音色は「至福の音色ウィンナートーン ウィーンの音色」と呼ばれています。豊かな倍音を含む、歌うような響きを求め、一つの音を如何にして美しく、長持ちさせるかという音の奥行きを追求しており、ポディー全体を共鳴箱としているため、柔らかく美しいハーモニーの中に1音1音がはっきりと聞き取れる独特な響きを持っています。

[OWNER'S MANUALより]

スタインウェイはドイツの屈強な騎士と表されドイツ系音楽には優れた表現力を発揮すると云われています。明るく華やかな高音、クリアで鋭く伸びの良い中音域、重厚で迫力のある低音を合わせ持つパワフルなピアノ。サロンではなく数千人を収容するコンサートホールで、客席の隅々まで染み渡るピアノシモと、威嚇感を与えるフォルテシモを響かせることのできるピアノなのです。

[特集スタインウェイの150年より]

多くのアーティストが称えたハーモニーホール

小山実稚恵さん(ピアニスト)

2022/11/23公演(小山実稚恵フェイスブックより)

初めての八女でのコンサート。

昨日からリハーサルのため会場入りし、いつも通りスタインウェイ・ピアノでリハーサルを開始しましたが、ベーゼンドルファーもあるとお聞きしました。音をだしてみると、こちらも大変素晴らしいピアノなのです。

2台のピアノを舞台上に置いてリハーサルを続けました。それぞれのピアノが魅力に溢れていて、なかなか1台に決めることが出来ず、迷ったあげく結局、前半はベートーヴェン他をスタインウェイを、後半のシューベルトの最後のソナタはベーゼンドルファーを使いました。それぞれの作品のイメージだったのです。一度のコンサートで、2台のピアノを弾いたのは初めての事です。

偶然がもたらした決断でしたが、素晴らしい経験となり、幸せを感じながら演奏しておりました。

参加にあたってのご注意

- 特に年齢制限は設けていませんが、高校生以下は保護者または指導者の同伴が必要です。
- ホール内は飲食禁止です。(必要最低限の水分補給のみ可)
- 客席は最前列のみ使用できます。(録音録画、写真撮影のための通路の利用は可)
- ピアノの定期調律は行っていますが、利用前後の調律は行いません。
- カメラ・ビデオ撮影可、ピアノを中心としたアンサンブル、歌唱も可。
- 発表会、演奏会等の目的での利用はできません。関係者のみの入場となります。